

大分県地域強靱化アクションプラン2018の策定について

《第1章》大分県地域強靱化アクションプランの位置付けと構成

- 「達成された代表的な指標」を追記
 - ・全134指標のうち32指標を達成
 - ・達成された代表指標を検証し、次期計画の目標設定に反映させる。
- 「昨年の大規模自然災害等を踏まえた重点的な取組」を追記
 - ・昨年5月に発生した豊後大野市朝地町綿田地区地すべり、7月の九州北部豪雨、9月の台風第18号、本年4月に発生した中津市耶馬溪地区の斜面崩壊などの大規模自然災害を踏まえて、9つのリスクシナリオに対する重点的な取組をまとめた。

《第2章》各プログラムの推進計画等

○昨年の大規模自然災害等を踏まえた重点的な取組

ハード、ソフトの主な施策

- ①異常気象等による度重なる市街地等の浸水対策 1-3)
ハード) 河川改修事業(継続)
- ②大規模な火山噴火・土砂災害(深層崩壊)等による死傷者の発生防止 1-4)
ハード) 災害に強い森林づくり事業(新規)、土砂災害対策事業(継続)
ソフト) 土砂災害情報提供強化事業(新規)、がけ地隣接等危険住宅移転事業(新規)
- ③情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で発生する死傷者の防止 1-5)
ソフト) 災害対応支援システム構築事業(新規)、土砂災害情報提供強化事業(新規)
ソフト) 管理型水位計の設置(継続)
- ④孤立集落等の同時発生の防止 2-2)
ハード) 道路、農道等の防災対策(継続)
- ⑤ため池、ダム、防災施設等の損壊・機能不全による二次災害の発生防止 7-4)
ハード) 農業用ため池・砂防設備・河川管理施設の整備(継続)
ソフト) ハザードマップ作成(継続)
- ⑥有害物質の拡散・流出防止 7-5)
ハード) 休廃止鉱山鉱害対策事業(継続)
- ⑦農地・森林等の荒廃による被害の拡大防止 7-6)
ハード) 治水・治山施設の整備等の防災減災対策(継続)
- ⑧地域コミュニティの崩壊等による復旧・復興の遅れの防止 8-3)
ソフト) 災害ボランティアセンター運営支援事業(継続)
- ⑨広域・長期の浸水被害の発生による復旧・復興の遅れの防止 8-5)
ハード) 河川改修事業(継続)

○その他の施策

- ・大規模氾濫に関する減災対策協議会(生環・土木)
- ・要配慮者利用施設の避難対策(福祉・生環・土木・教育)
- ・防災航空隊基地(県央飛行場)の機能強化(生環)
- ・基幹災害拠点病院BCP策定(病院)
- ・県庁舎、地方総合庁舎に追加して保健所等の耐震化の実施(総務・福祉・土木)
- ・県策定の市町村災害廃棄処理対策モデルマニュアルに基づく市町村マニュアルの策定(生環)

《第3章》プログラム推進のための主要施策

○第2章の推進計画に合わせて変更

- 《行政機能/警察・消防等》
 - ・防災航空隊基地(県央飛行場)の機能強化(生環)
- 《住宅・都市/環境》
 - ・県策定の市町村災害廃棄処理対策モデルマニュアルに基づく市町村マニュアルの策定(生環)
- 《保健医療・福祉》
 - ・基幹災害拠点病院BCP策定(病院)
 - ・県庁舎、地方総合庁舎に追加して保健所等の耐震化の実施(総務・福祉・土木)
- 《エネルギー/情報通信/産業構造》
 - ・災害対応支援システムの構築(生環)
 - ・土砂災害情報等の提供、河川水位計の増設など情報基盤の整備(土木)
- 《農林水産》
 - ・間伐や広葉樹林化など災害に強い森林づくりの推進(農水)
- 《リスクコミュニケーション(情報の共有、教育・訓練、啓発等)》
 - ・要配慮者利用施設の避難対策(福祉・生環・土木・教育)
 - ・大規模氾濫に関する減災対策協議会(生環・土木)

AP2018スケジュール

- 5月22日 幹事会
- 5月29日 有識者会議
- 7月9日 推進委員会